



2025年8月14日

2026年3月期第1四半期 決算説明資料

株式会社くすりの窓口

証券コード：5592

5.中期経営計画

2026年3月期第1四半期 連結決算概要

2026年3月期第1四半期 連結決算概要

2026年3月期
第1四半期

全事業の売上高が前期を上回ったため、増収増益。

連結売上高
29.1億円
前期比 +11%

連結営業利益
6.2億円
前期比 +65%

ストック粗利
8.5億円
前期比 +23%

メディア事業

施設保有数の増加に加え、処方箋ネット受付数も増加し、前期比で増収増益。

売上高
11.5億円
前期比 +9%

ストック粗利
3.8億円
前期比 +42%

みんなのお薬箱
事業

不動産サービスは、中堅・大手の取引量の増加により、増収増益。仕入れサポートサービスは改善途中だが、流通額は徐々に回復傾向。

売上高
8.7億円
前期比 +12%

ストック粗利
3.8億円
前期比 +15%

基幹システム
事業

調剤薬局向けレセコン、薬歴と調剤監査システムの導入が進み増収。新商材のリリースなど先行投資の影響によりストック粗利は減益。

売上高
8.2億円
前期比 +11%

ストック粗利
1.4億円
前期比 △9%

※当社は単一セグメントのため各事業の売上とストック粗利を重要指数としております。

2026年3月期第1四半期 業績報告

連結売上高

2025年3月期は診療・調剤報酬改定の年度で特需があり業績も大きく伸長しましたが、2026年3月期第1四半期のショット売上、ストック売上は共にその前年を上回りました。2026年3月期第1四半期のストック売上は、3事業が全て前期および前四半期で増収となったことで過去最高を更新しました。



連結ストック粗利

2026年3月期第1四半期は、メディア事業とみんなのお薬箱事業のストック売上が増加したことによりストック粗利は過去最高を更新しました。みんなのお薬箱事業は、中堅・大手による不動産在庫サービスの取引量の増加により好調でした。

■ 連結ストック粗利（百万円）

※グラフの連結ストック粗利は、新規事業も含んだ数値になります。



連結営業利益

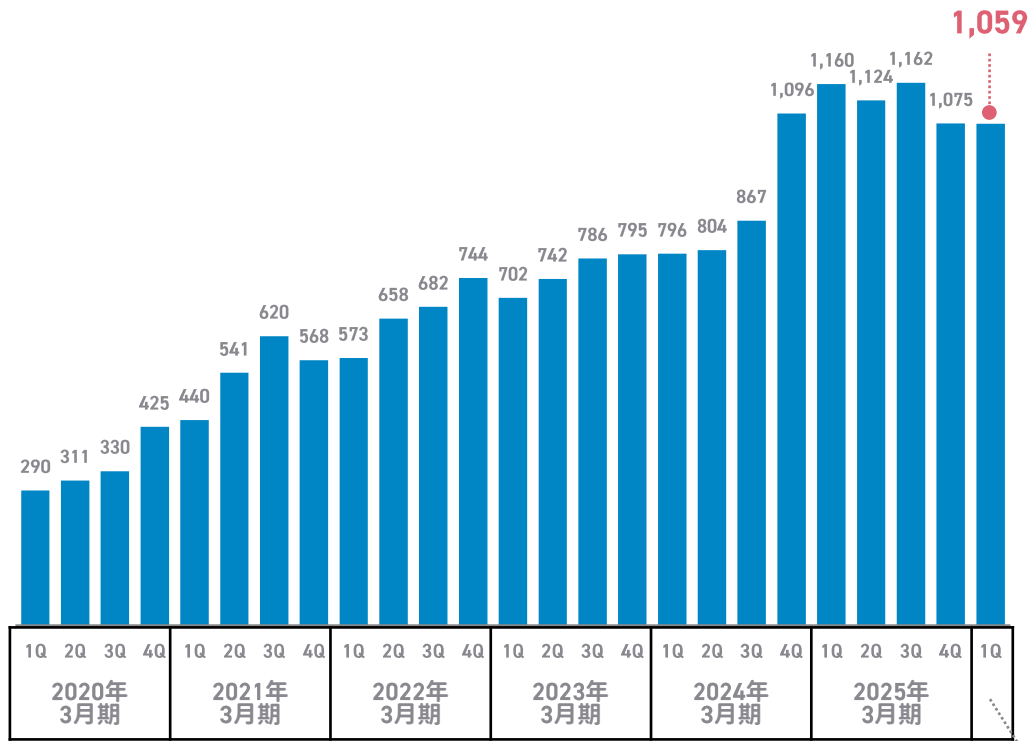
連結営業利益は、全ての事業が増収だったことと、子会社の合理化をはじめとするグループ全体のコスト適正化に努めたことで、過去最高を更新しました。



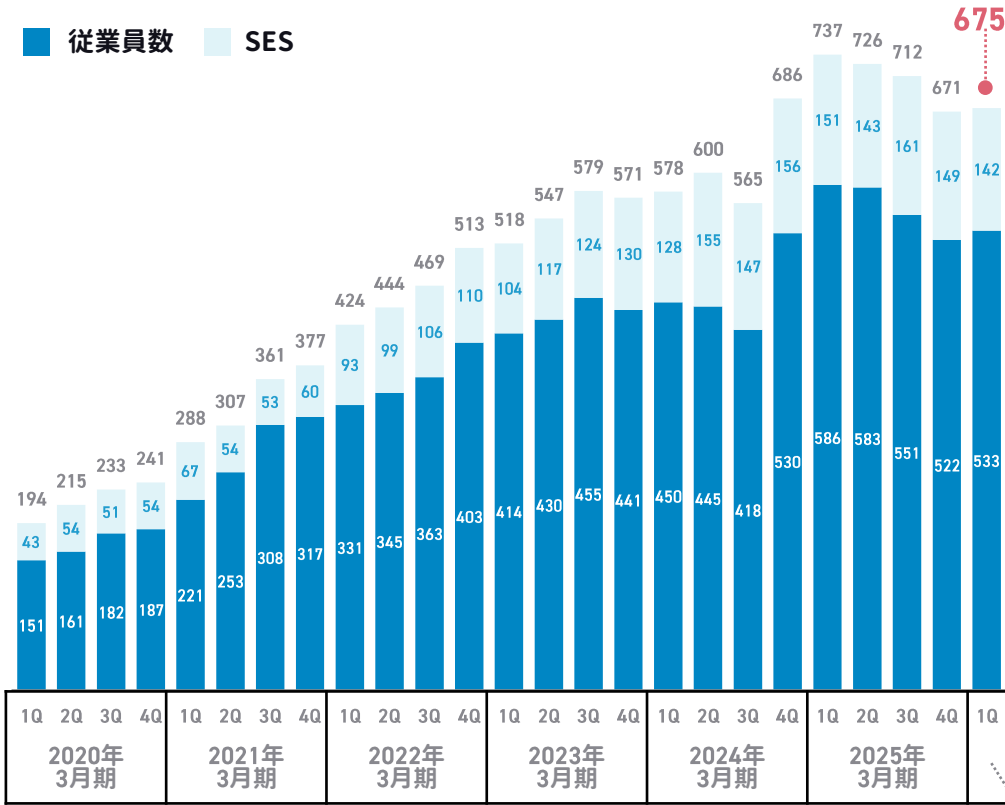
連結販管費と従業員数

子会社のコストの適正化が進み、販管費、稼働人数ともに前期比で減少いたしました。

販管費 単位：百万円



従業員数 単位：人



連結損益計算書

親会社株主に帰属する四半期純利益は、2026年3月期の業績予想に対して進捗が遅れておりますが、予定している第2四半期の資本金の減資に伴う繰越欠損金に係る繰延税金資産の追加計上で計画通りに推移する見通しです。

単位：百万円	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減率	2025年3月期 第4四半期	増減率
売上高	2,914	2,629	+11%	2,778	+5%
売上総利益	1,688	1,542	+10%	1,472	+15%
営業利益	629	382	+65%	397	+58%
経常利益	645	379	+70%	402	+60%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	386	239	+61%	472	△18%
EBITDA	975	669	+46%	714	+37%

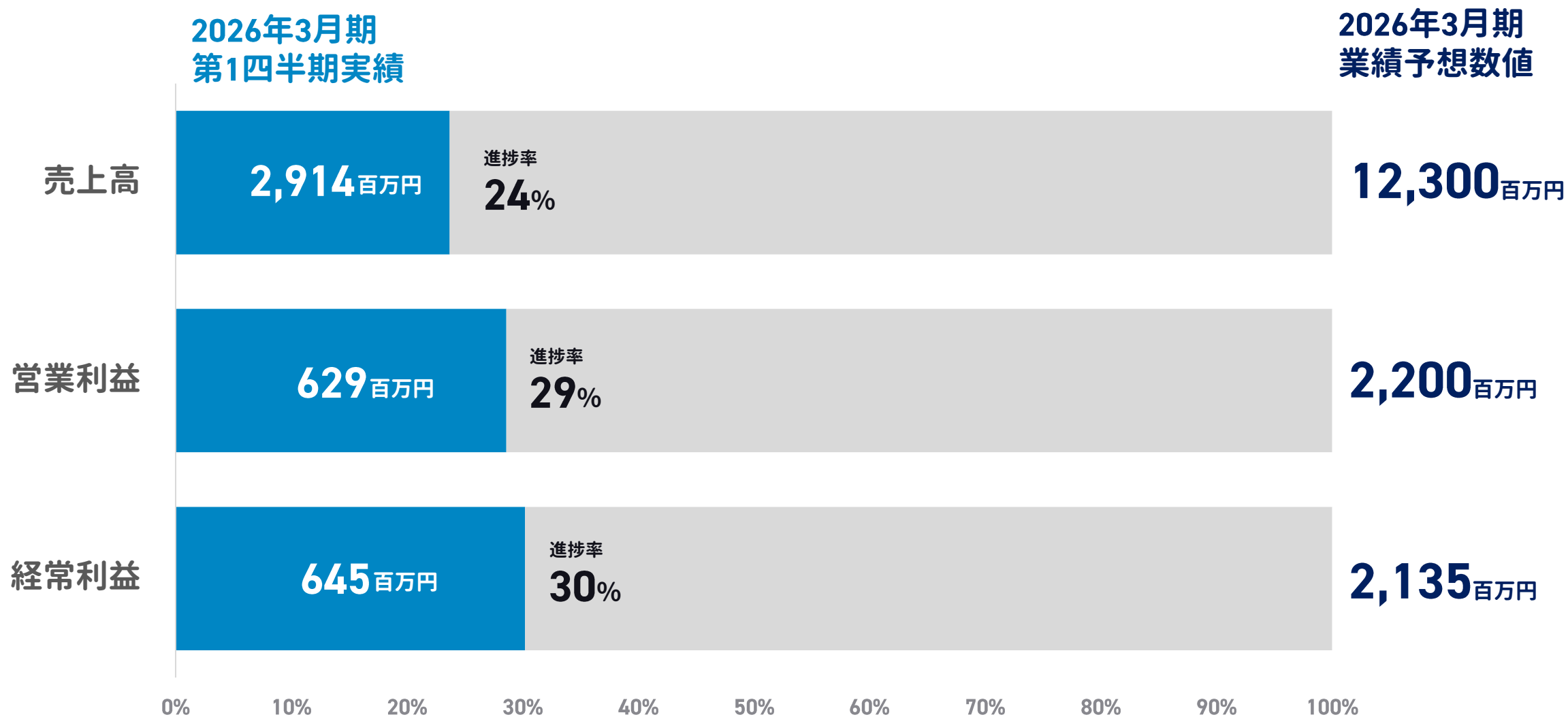
2026年3月期第1四半期の繰越欠損金の処理について

6月24日の第21期定時株主総会においては、第2号議案「資本金の額の減少の件」のご承認いただき、減資の手続きを進めており、資本金の額の減少の効力発生日が9月を予定しております。

この資本金の減少に伴う繰越欠損金に係る繰延税金資産の追加計上は第2四半期に予定されており、第1四半期の「親会社株主に帰属する四半期純利益」の進捗率は遅れではないため、通期の業績予想につきましては変更ございません。

計上金額につきましては、会計監査人や顧問税理士へも確認を取り、第2四半期の決算発表時に開示致します。

2026年3月期第1四半期の業績進捗率



連結貸借対照表

仕入れサポートサービスの請求回収代行スキームが変更になったことで、現預金と流動負債が大幅に減少いたしました。
また、第1四半期に配当金と税金の支払を行っております。

単位：百万円	2026年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	増減率	2025年3月期 第4四半期	増減率
総資産	11,874	18,888	△37%	12,157	△2%
流動資産	5,879	13,977	△58%	6,229	△6%
現預金	1,888	10,250	△82%	2,104	△10%
固定資産	5,995	4,911	+22%	5,928	+1%
負債	3,249	12,242	△74%	3,640	△11%
流動負債	2,772	11,545	△76%	3,125	△11%
固定負債	477	697	△32%	515	△7%
純資産	8,625	6,645	+30%	8,516	+1%

■ 事業内容と業績

メディア事業

3. 事業内容と業績

メディア事業 | ビジネスモデル



国内最大級の
ポータルサイト

EPARK
くすりの窓口



600万DL突破

iOS 4.54
Android 4.36

累計DL数
最大級のお薬手帳

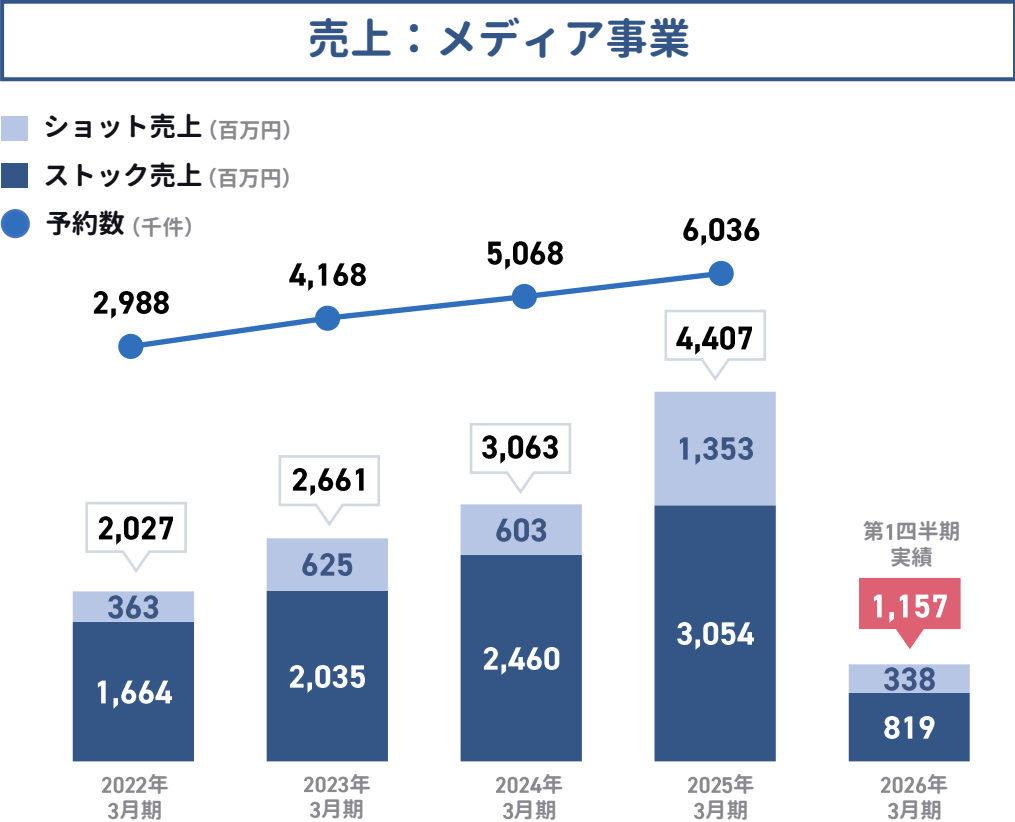
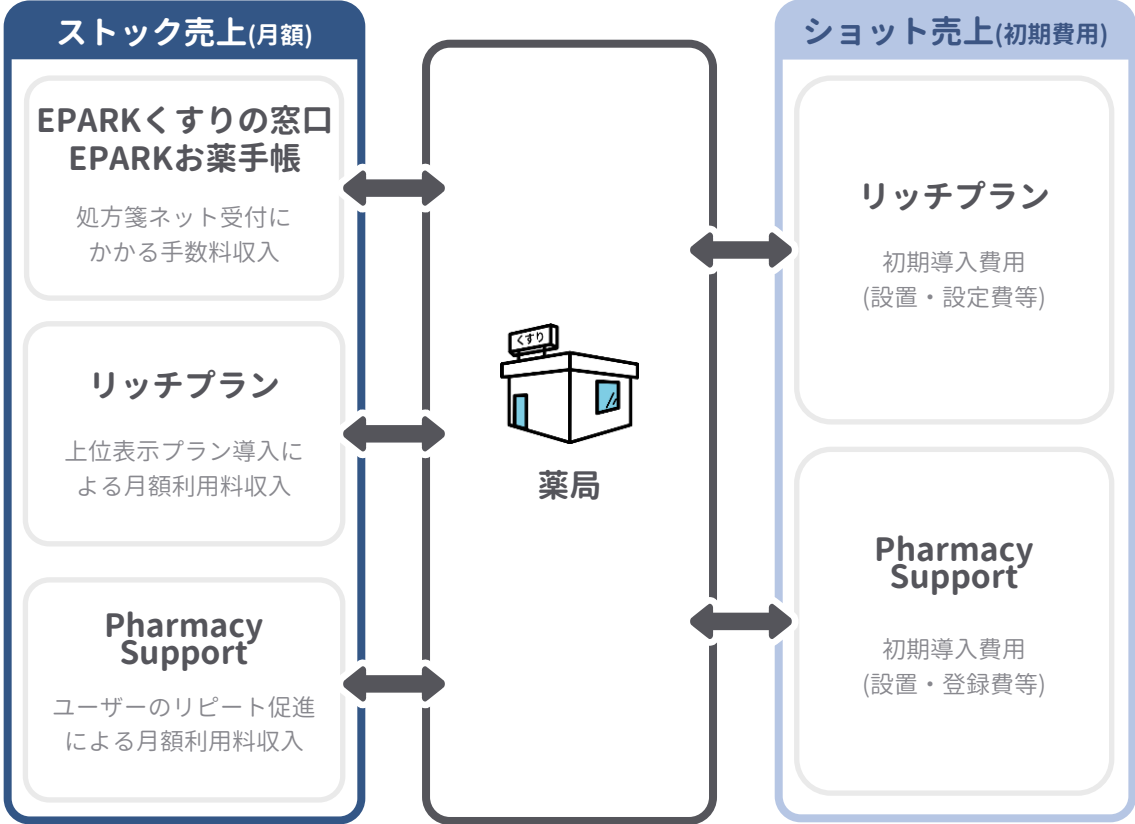
EPARK
お薬手帳



EPARKくすりの窓口の上位
表示プラン



患者のリピート促進に特化し
た顧客管理システム



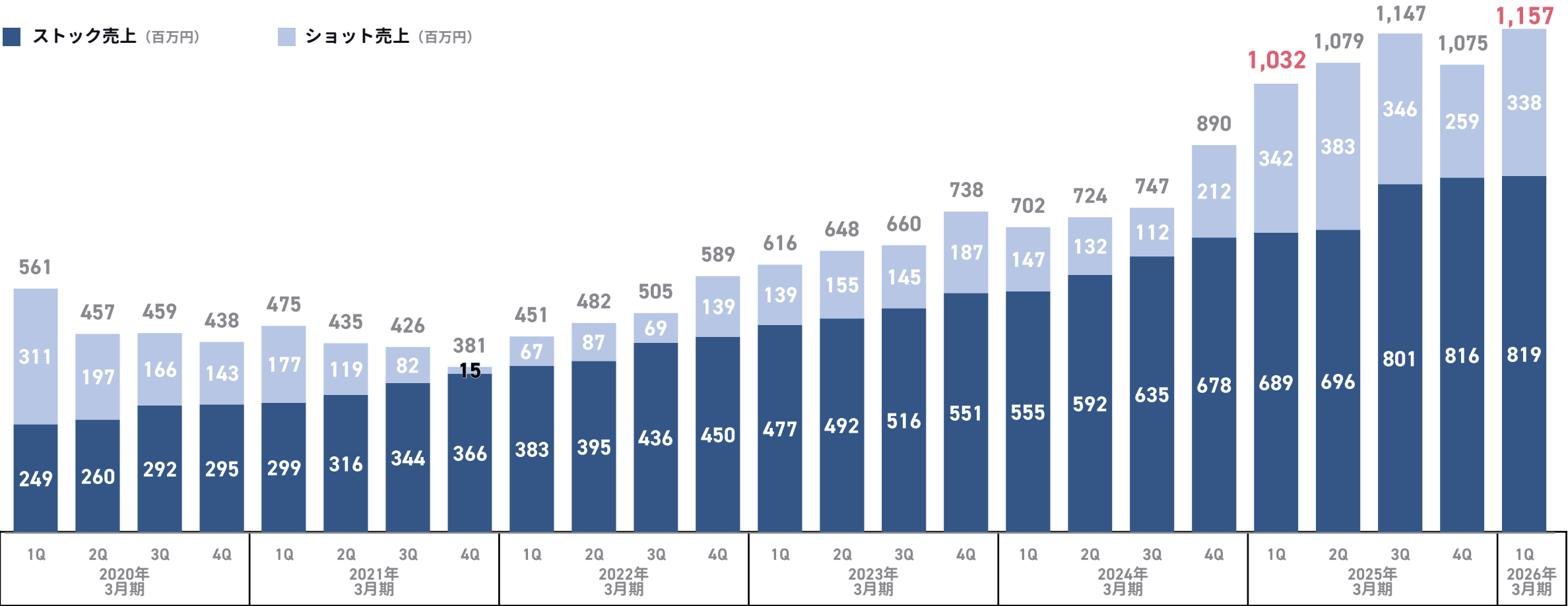
ストック売上：月額利用料などの契約に基づいて一定程度継続的に得られることを見込んでいる売上と定義。
ショット売上：初期導入費用など一時的に得られる売上と定義。

3. 事業内容と業績

メディア事業 | 売上高

ショット売上は、前期の水準(四半期平均332百万円)で推移しており、ストック売上は、処方箋ネット受付数の増加により売上が伸長しております。

※メディア事業にEPARK人間ドックの売上を含めておりましたが、今後未病予防事業として報告するため、遡って売上を修正しております。

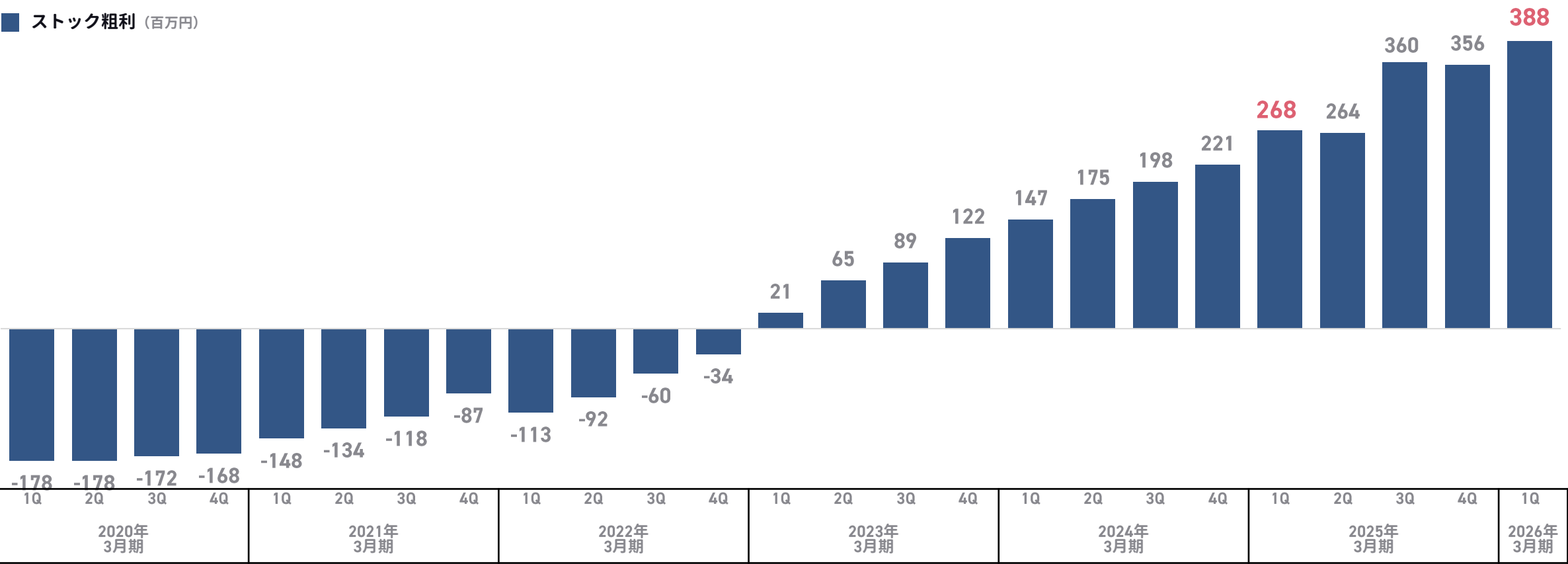


メディア事業 | ストック粗利

処方箋ネット受付数の増加と粗利率の改善により増益となりました。2025年3月期第1四半期の粗利率は39%、2026年3月期の第1四半期の粗利率は47%となり、過去最高を更新しました。2025年3月期第4四半期は、将来に向けての先行投資などを行ったことでストック粗利が減少しておりました。

※メディア事業にEPARK人間ドックの売上を含めておりましたが、今後未病予防事業として報告するため、遡ってストック粗利を修正しております。

■ ストック粗利 (百万円)

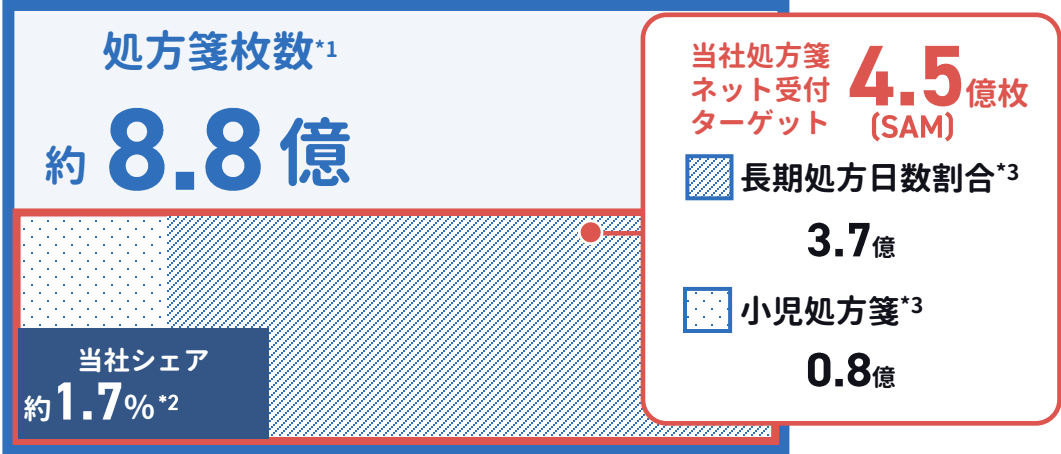
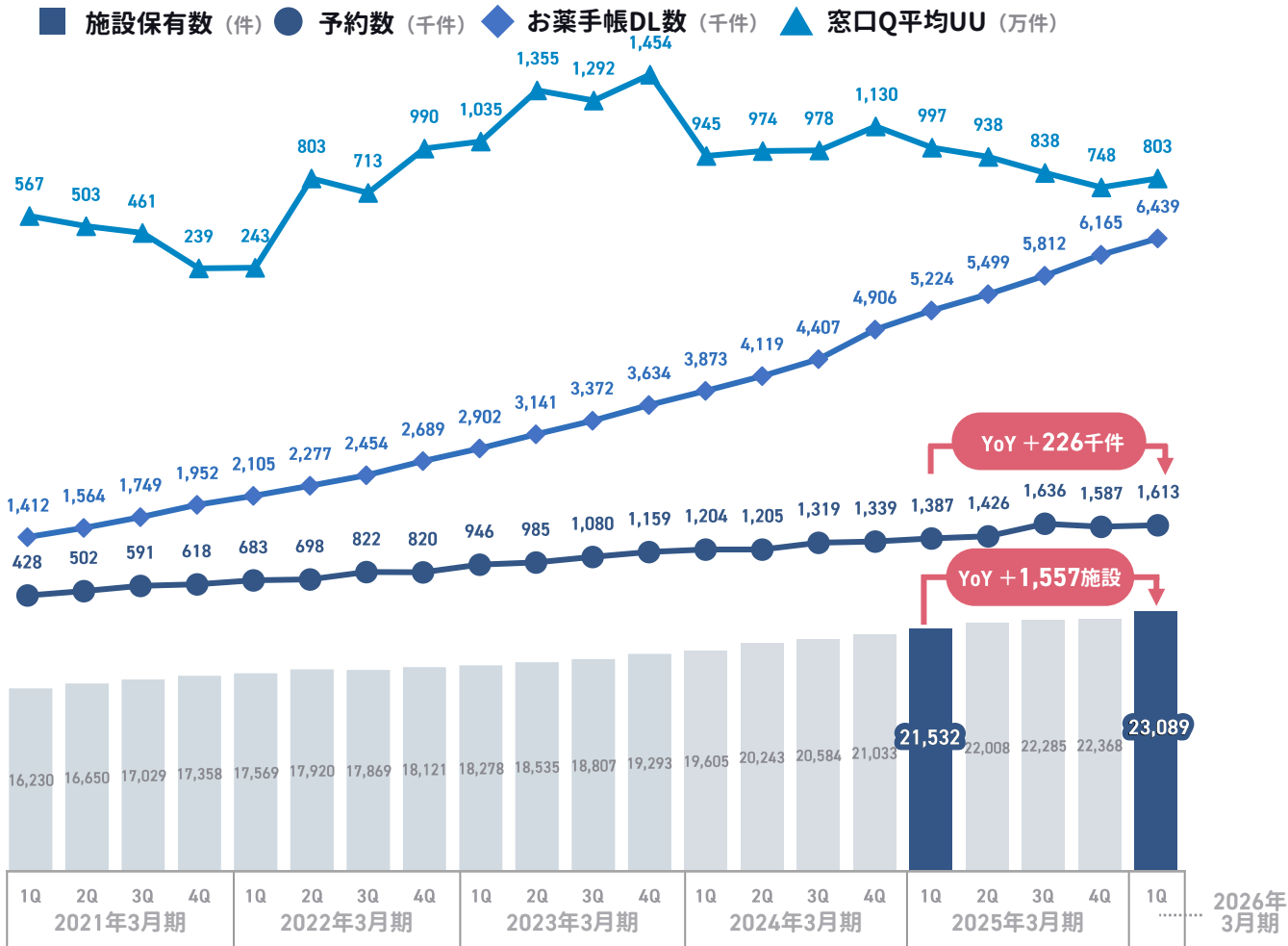


※一部の予約定義の修正を2025/3の1Qと2Qで調整しております。

3. 事業内容と業績

メディア事業 | KPI（重要指数）

EPARKお薬手帳アプリも累計ダウンロード数が600万を突破後も好調に推移。EPARKくすりの窓口からお薬手帳への囲い込みが進んでおります。



*1. 調剤医療費総額、処方箋枚数(受付回数)令和4年4月～令和5年3月
*2. 1予約当たりの処方箋枚数を1.2枚で計算
*3. *1を元に当社実績割合で算出

処方箋ネット受付の機会損失を防ぐ施策

[illegible]

店舗での業務効率化施策

- ◇処方箋受付機
- ◇お薬の受取りロッカー
- ◇発券機



■ 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業

3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | ビジネスモデル



(株)J-Seed

国内最大級の流通改善により、最適な仕入れサポートの提供



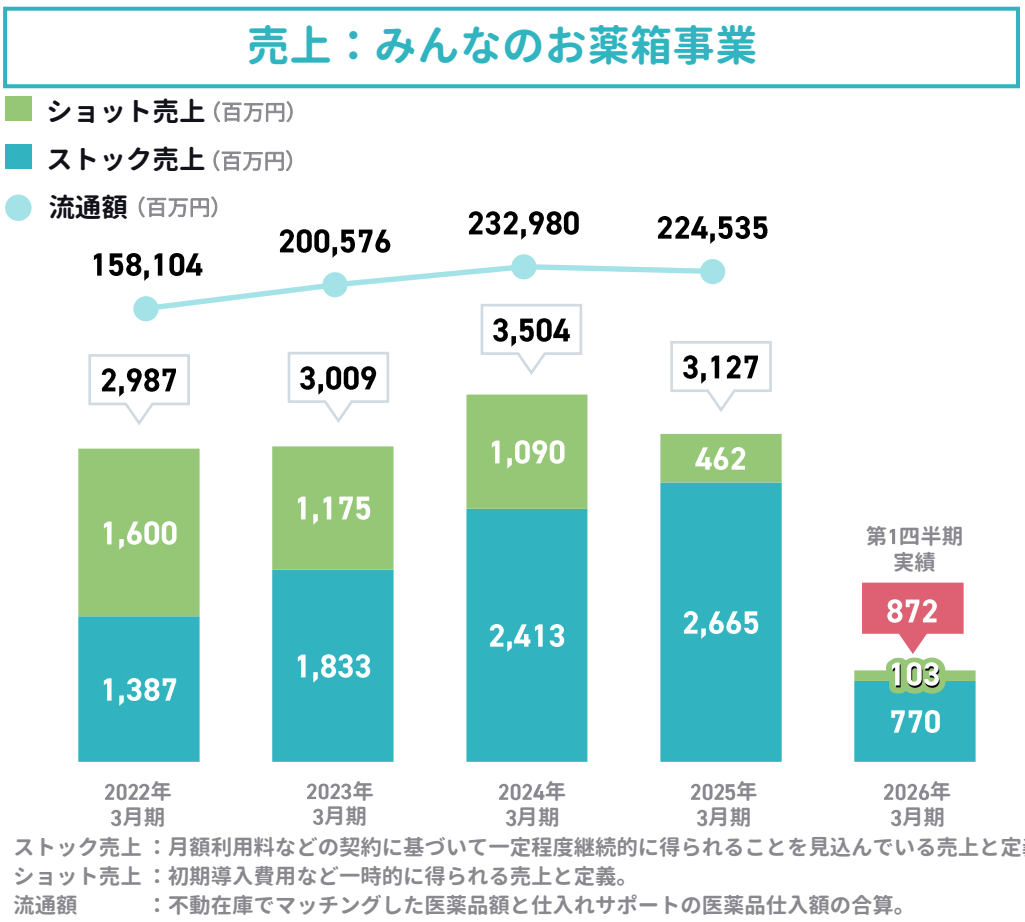
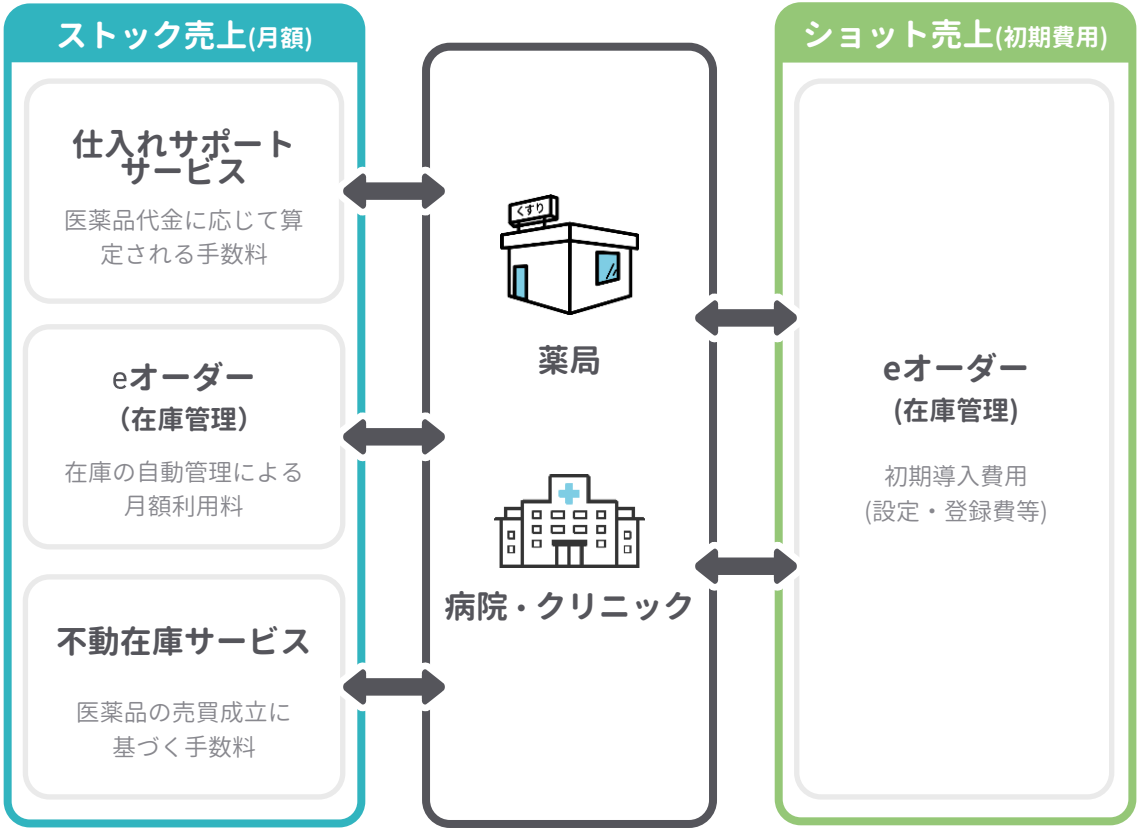
需要予測 / 在庫管理・棚卸

AIを活用した在庫管理自動発注システム



不動産在庫サービス

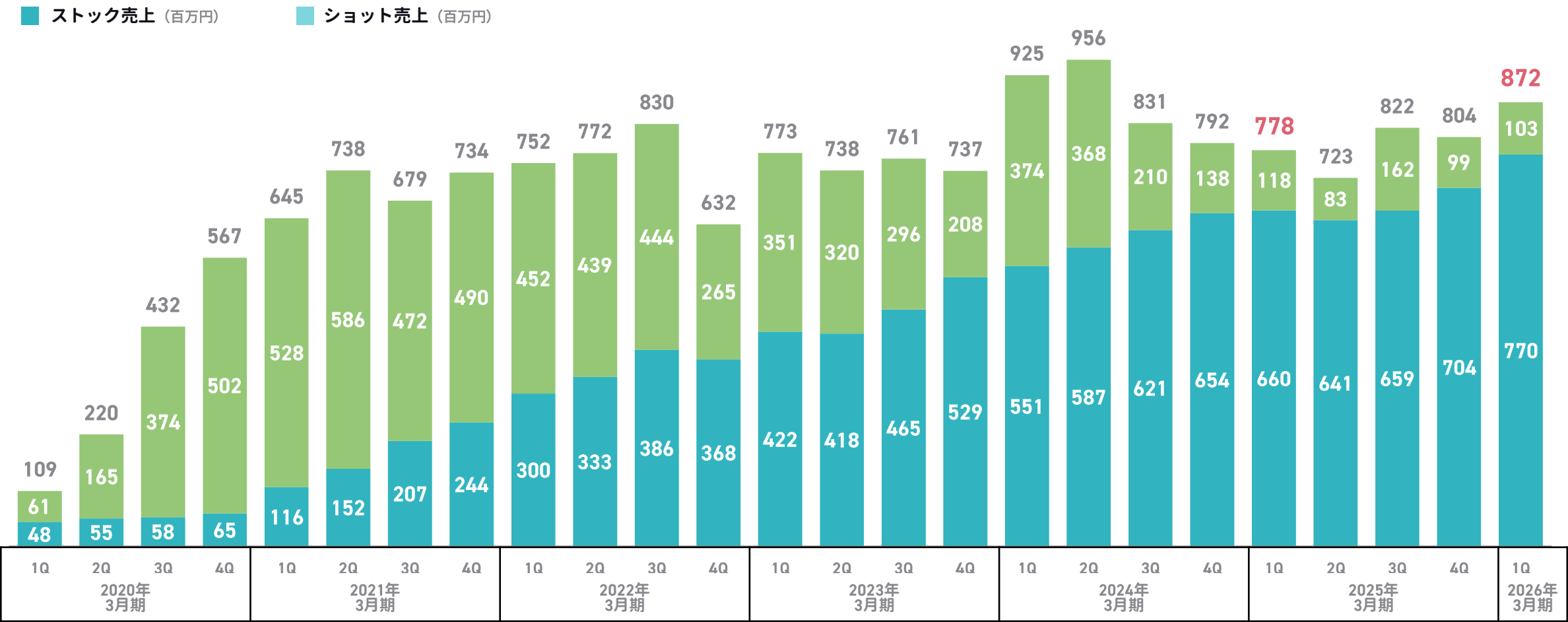
国内最大級の医薬品売買のマッチングサイト



3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | 売上高

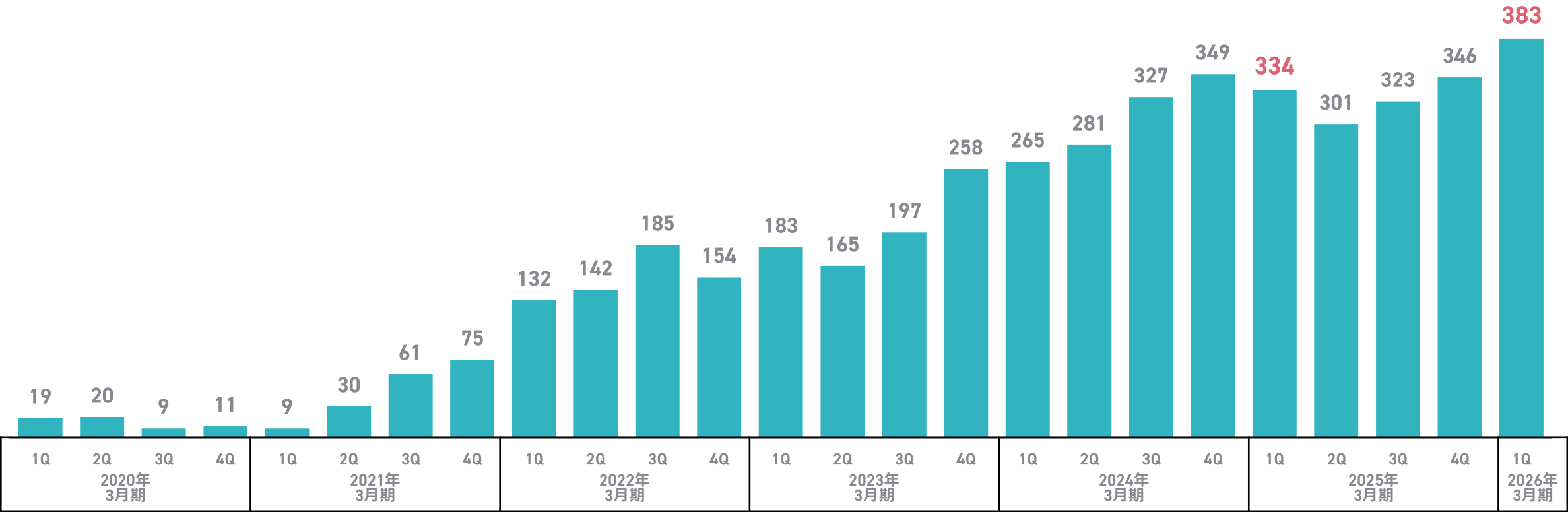
ストック売上高は、不動産在庫サービスの中堅・大手の取引量の増加により大きく伸長し、過去最高を更新しました。
仕入れサポートサービスは改善途中ですが、一旦撤退した大手の顧客も徐々に戻ってきており、流通額も徐々に回復傾向です。



みんなのお薬箱事業 | ストック粗利

ストック売上が好調だったこともあり、四半期のストック粗利としては、過去最高益を更新いたしました。

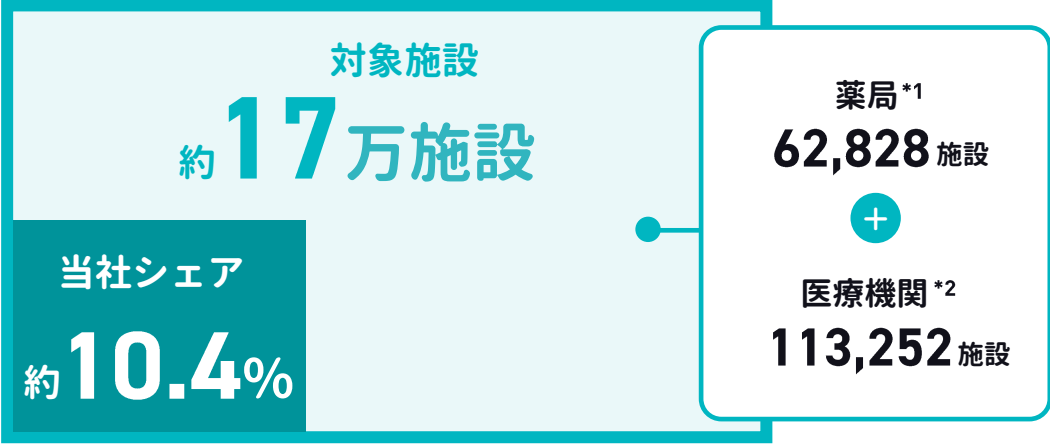
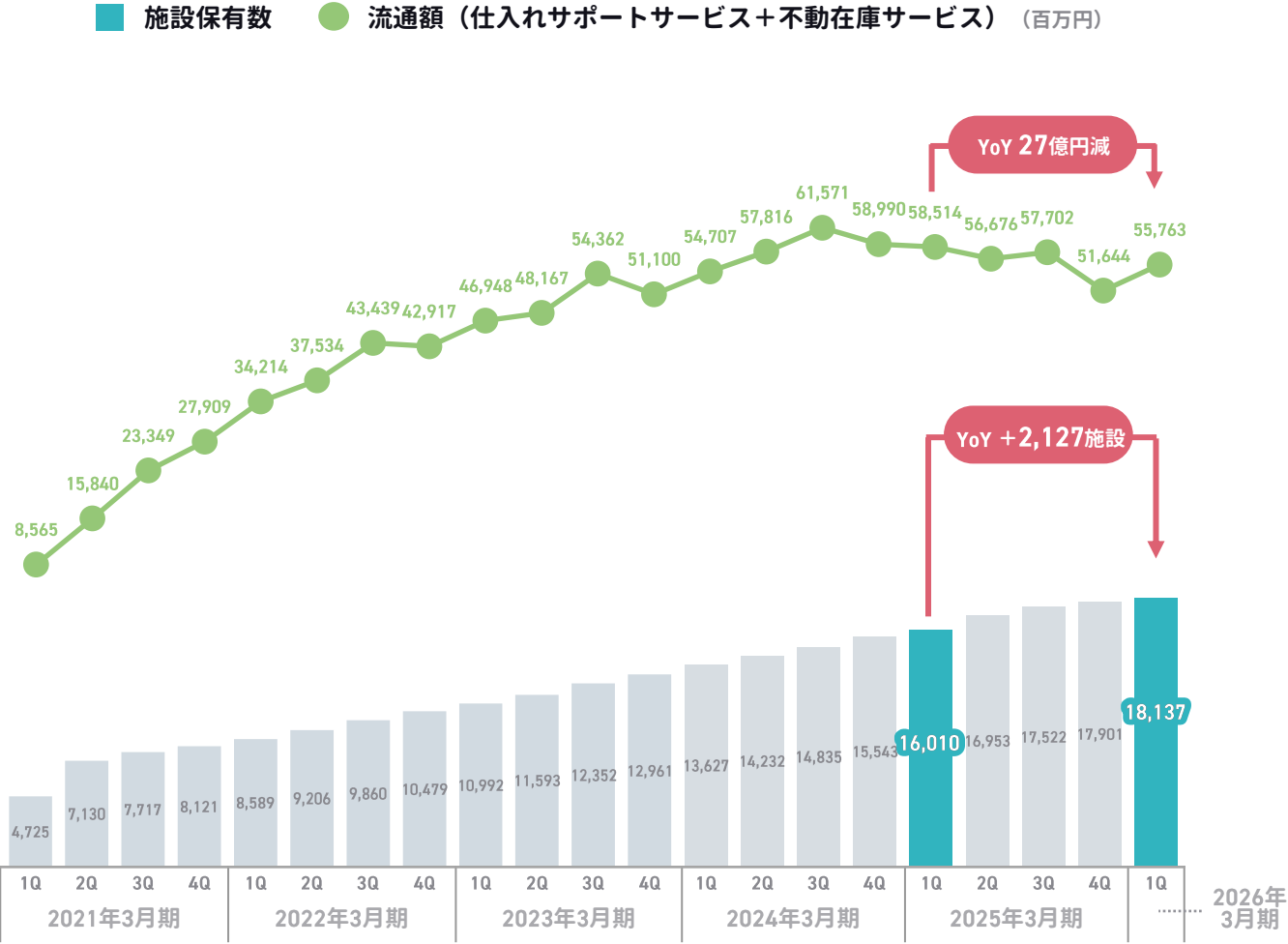
■ ストック粗利（百万円）



3. 事業内容と業績

みんなのお薬箱事業 | KPI（重要指標）

※仕入れサポートサービス+不動在庫サービス



*1. 厚労省「薬局薬剤師に関する基礎資料(概要)」より
*2. 厚労省「医療施設動態調査(令和3年1月末概数)」より
*3. IQVIA医薬品市場統計△売上データ（期間：2022年4月～2023年3月）

みんなのお薬箱事業 | トピックス

不動産サービスの拡大

不動産サービスについては、キャンペーン等による営業施策により、中堅・大手の導入が進み、不動産サービスの流通額とそれに伴う手数料が増加いたしました。引き続き既存顧客の囲い込みと新規獲得により、2026年3月期は拡大して参ります。

みんくす電気

全国の医療・薬局・介護施設法人様の現在の電気のご利用状況に応じて、今までと変わらない品質のまま、電気料金を削減する最適なプランを提案しております。

PLAN
みんくす電気3プラン

北海道、東北、関東、北陸、中部、関西、中国、四国、九州の地域が対象となり
旧電力会社から新電力会社まで幅広くお取り扱いしています。
詳しくは、お気軽にご相談ください。

低圧プラン	動力プラン	高圧プラン
		
電気を多く利用される方 向け よりなりやすい(第1段階)電気料 金が最適なプランです。	業務用機器を使用される 方向け よりなりやすい(第2段階)電気料 金を提供します。	商業施設や工場、病院な どでご利用の方向け 電気の運賃は今までと変わら ずそのまま、わかりやすいシ ンブルな料金プランです。

※各プランにはそれぞれ適用範囲があります。詳細はお問い合わせください。また、ご加入の電気料金プランは、ご加入の電気料金プランによって異なります。
※2025年4月1日より、電力会社別の料金体系が変更となります。詳しくは、お問い合わせください。

事業内容と業績

基幹システム事業

3. 事業内容と業績

基幹システム事業 | ビジネスモデル

薬局

Pharmy Connect
Hi-story

レセコン、薬歴、
監査システムを薬
局向けに提供

介護

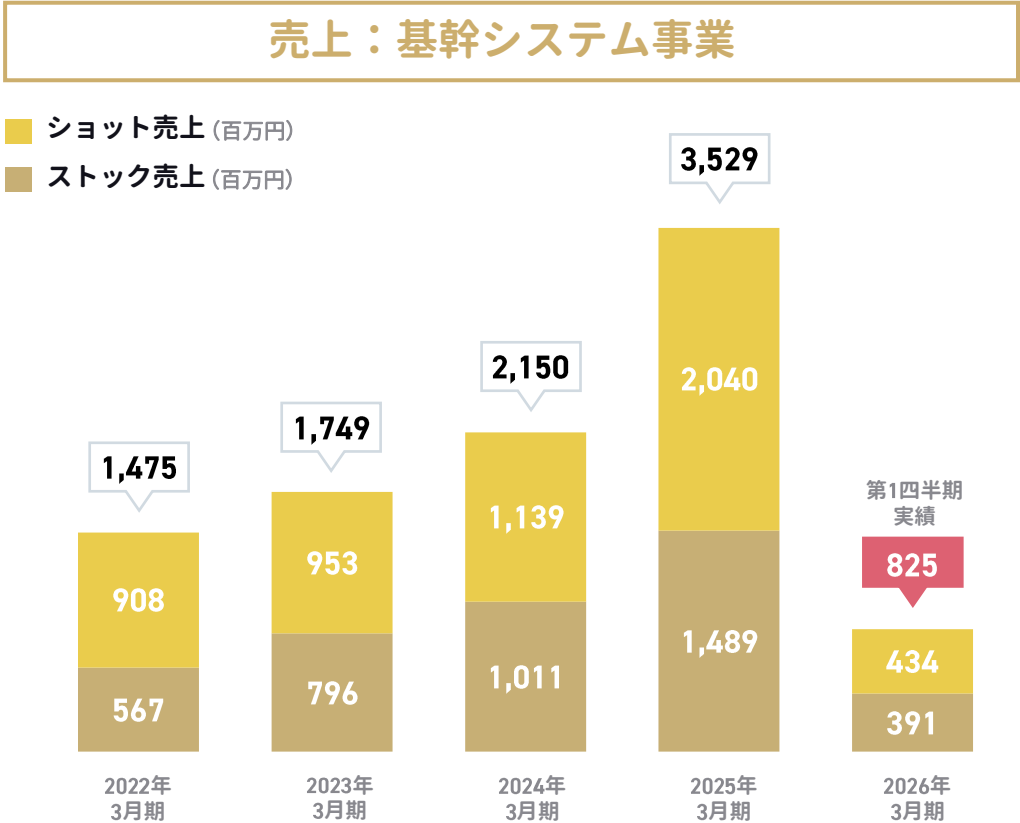
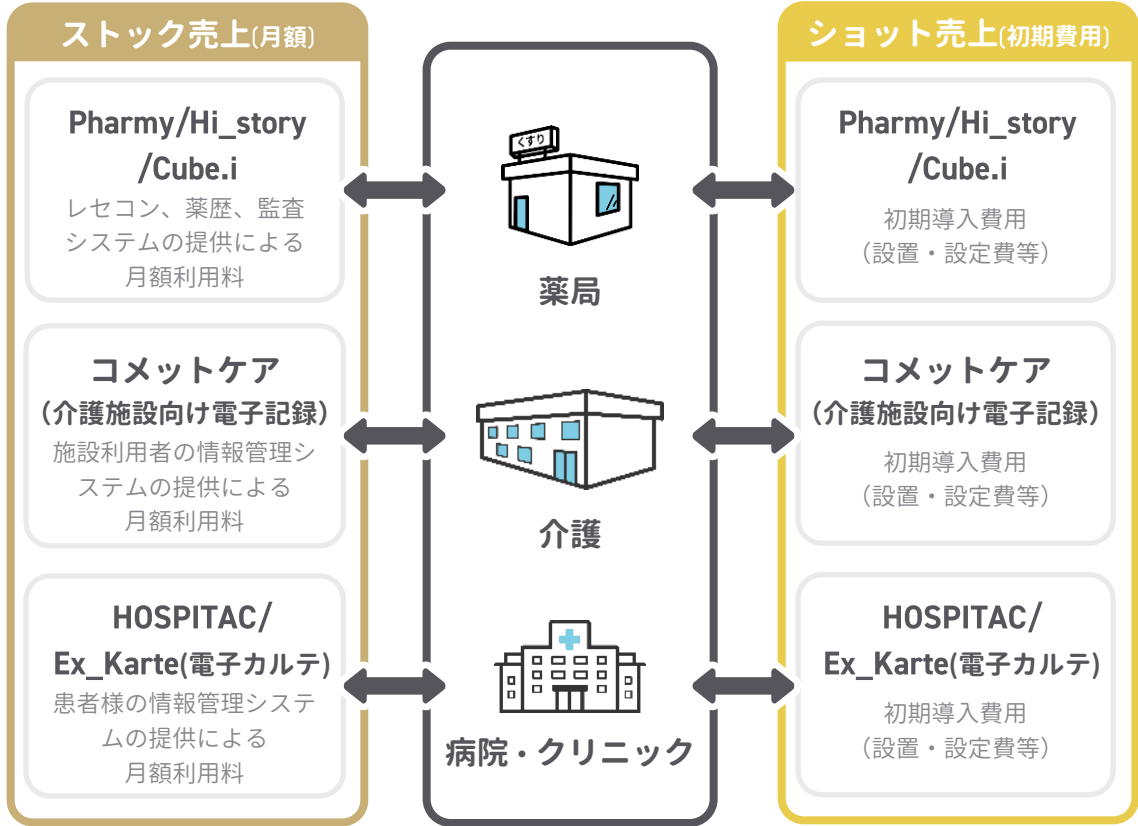
コメットケア
ケア記録アプリ

介護記録システム
を提供

病院

HOSPITAC®
Ex-Karte

規模に合った電子
カルテ病院・クリ
ニック向けに提供

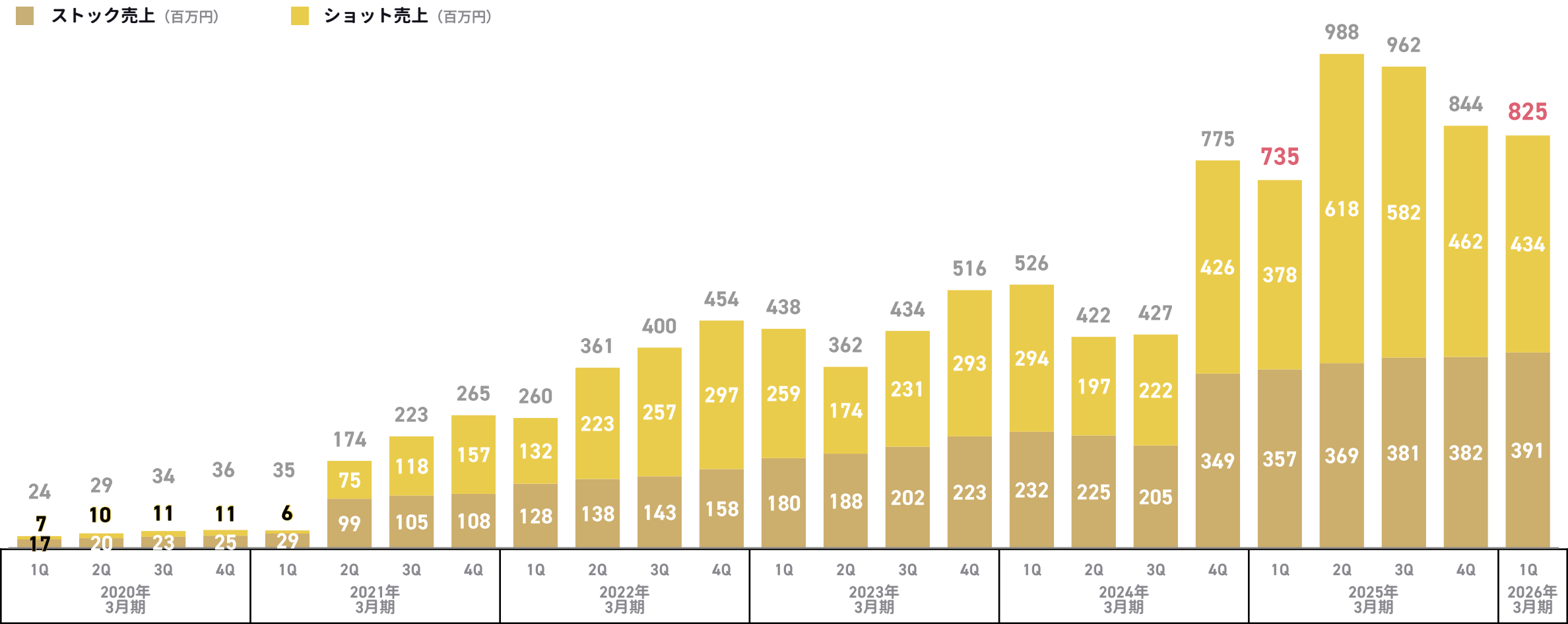


ストック売上：月額利用料などの契約に基づいて一定程度継続的に得られることを見込んでいる売上と定義。
ショット売上：初期導入費用など一時的に得られる売上と定義。

3. 事業内容と業績

基幹システム事業 | 売上高

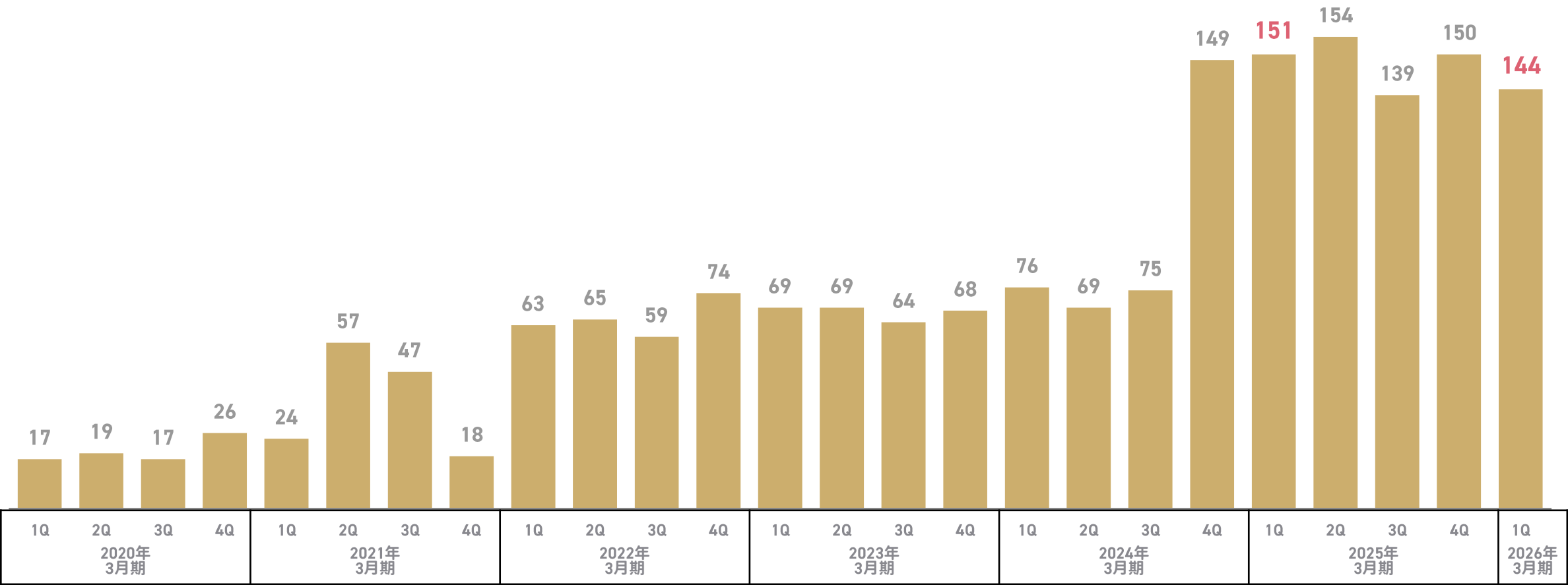
電子薬歴やレセコン、調剤監査システムの導入が進み前期比でショット売上が増加いたしました。
2025年3月期第4四半期に電子カルテの大型案件を計上しており、前四半期よりショット売上は減少しております。
ストック売上は、着実に積み上がり過去最高を更新しました。



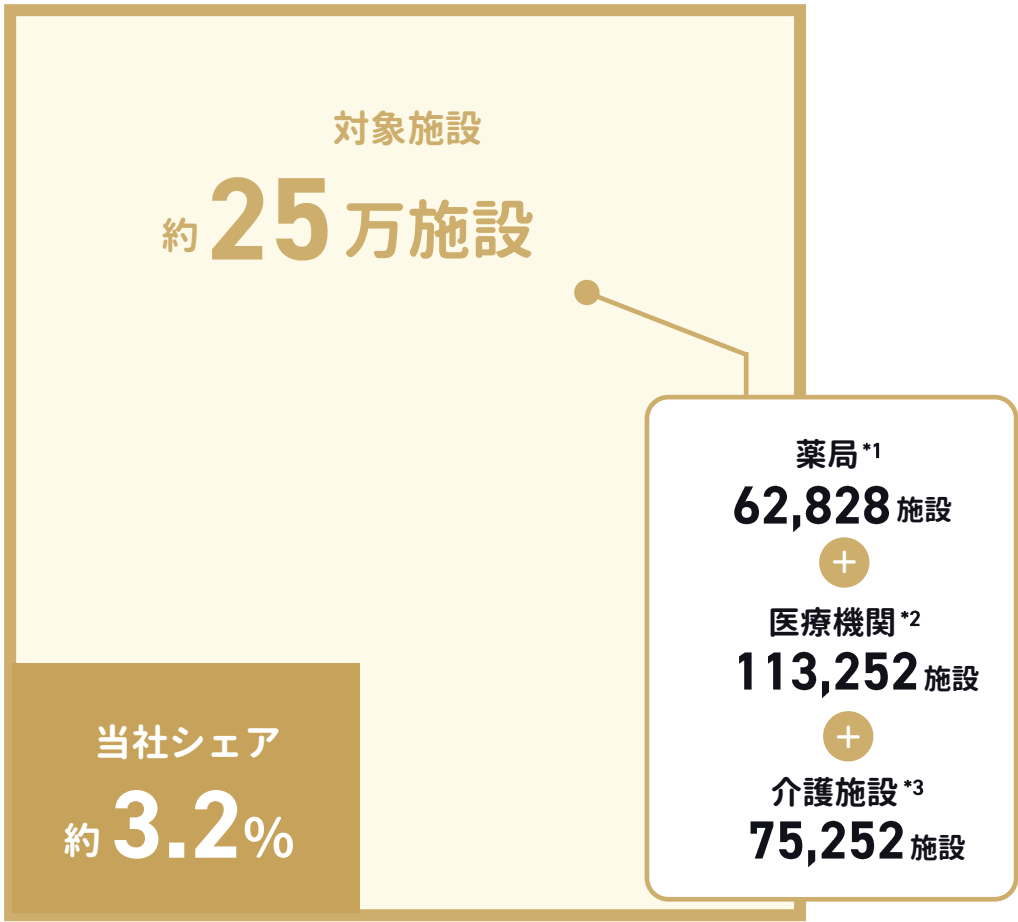
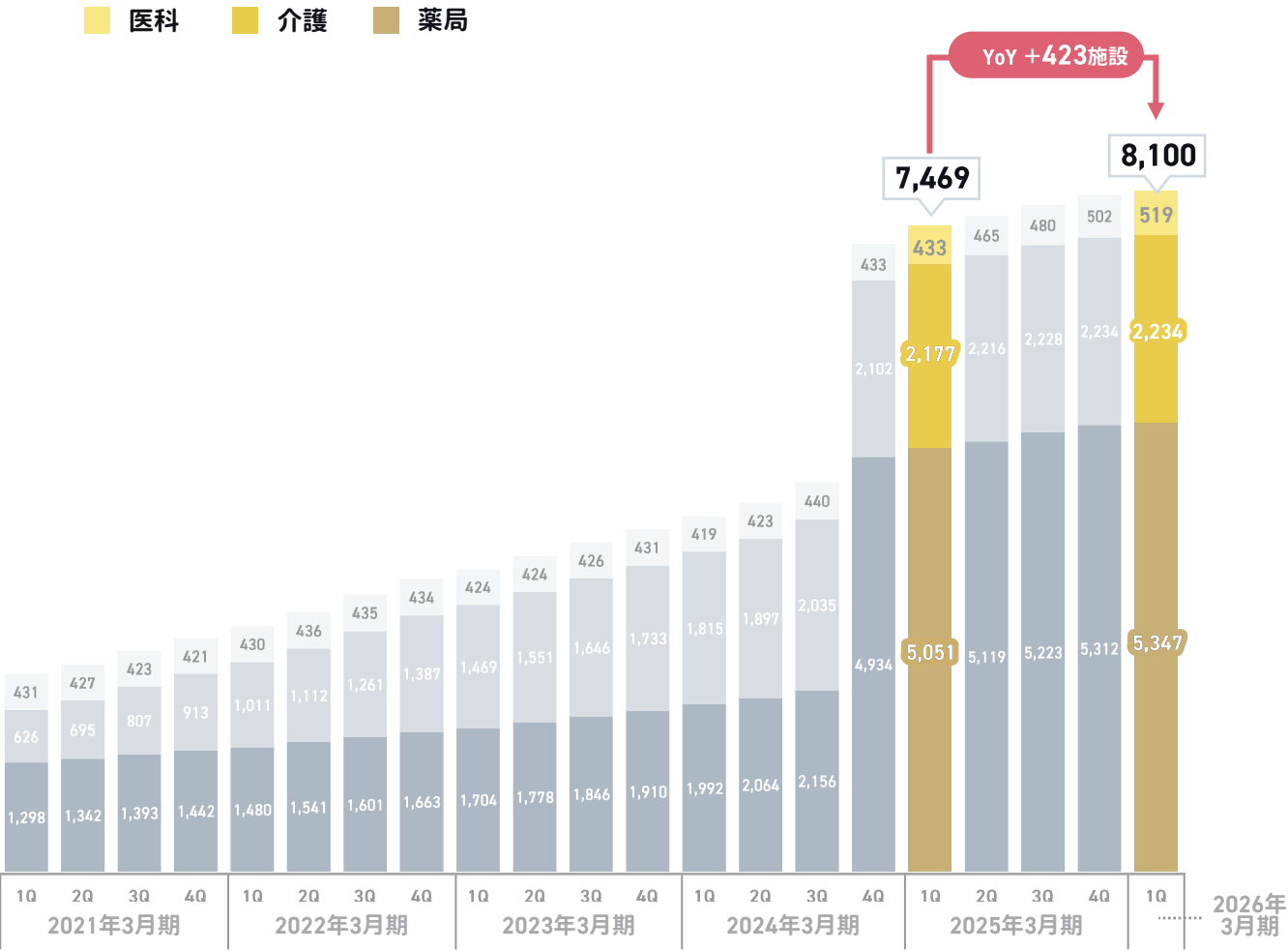
基幹システム事業 | ストック粗利

新商材への開発投資によりストック原価が増加したことでストック粗利が減益となりました。

■ ストック粗利 (百万円)



基幹システム事業 | KPI（重要指数） 業種別施設保有数推移（四半期）



*1. 厚労省「薬局薬剤師に関する基礎資料(概要)」より
*2. 厚労省「医療施設動態調査(令和3年1月末概数)」より
*3. R40324社保審介護保険部会資料より

基幹システム事業 | トピックス

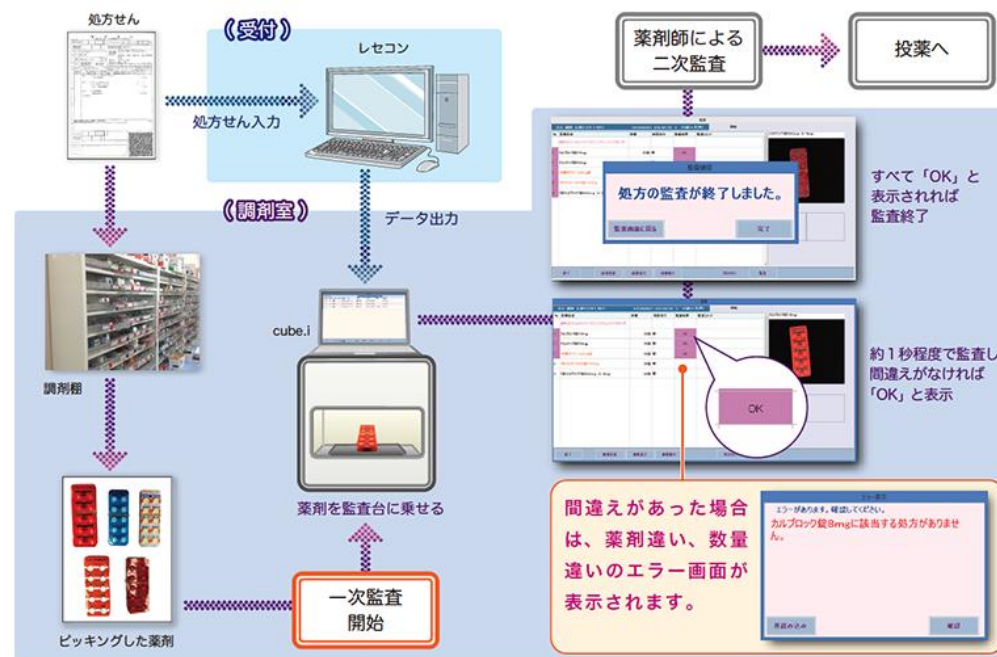
Cube.i (キューブ・アイ)

調剤過誤 (薬剤の取り違い、数量間違い)を未然に防ぐシステム

Cube.i (キューブ・アイ) は、お薬を輪ゴムで留めたまま監査台に乗せるだけで、医薬品と錠数の監査が完了する調剤監査システム

レセプトコンピュータから処方情報を取得し、1薬品毎に画像と錠数の重さをチェック。薬剤違い、数量違いなどが見付かった場合はエラーが表示され調剤過誤を未然に防ぎます。

操作方法



事業内容と業績

未病予防事業

3. 事業内容と業績

未病予防事業 | ビジネスモデル

**くすりの窓口
健診サポート**

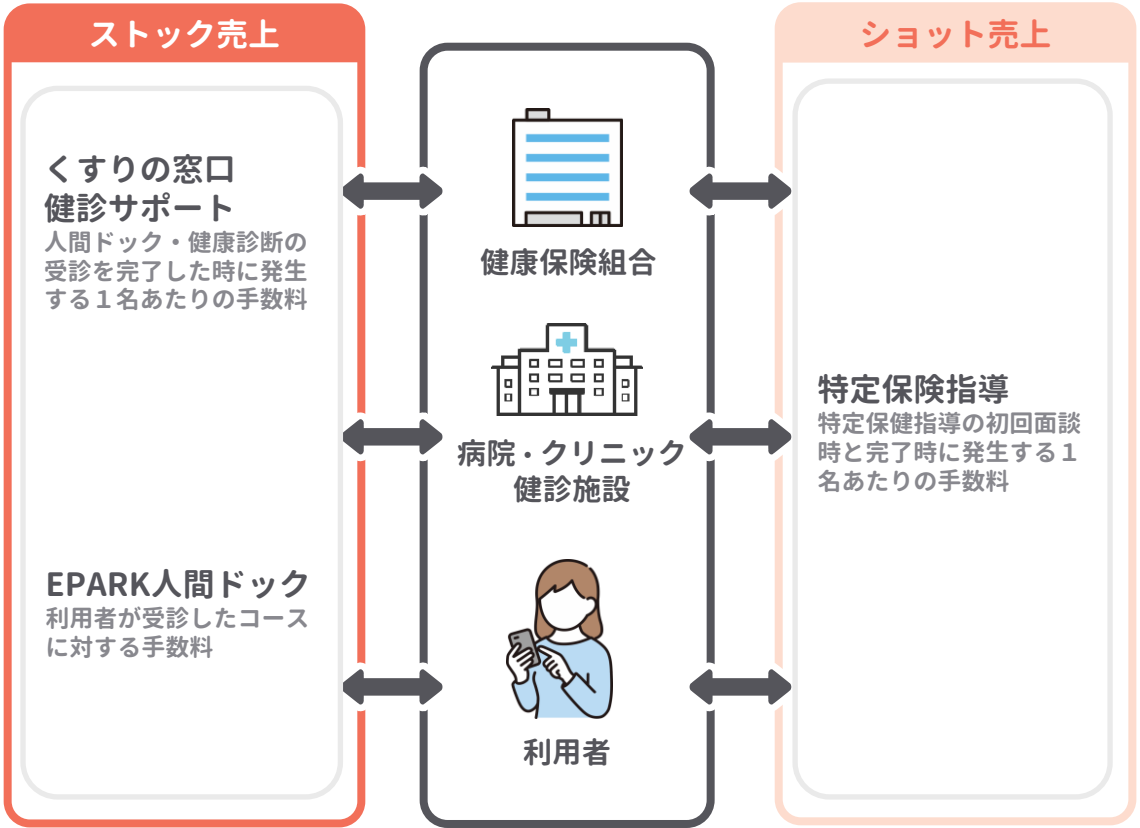
各健診施設との契約・更新から被保険者へのWEB予約環境の提供、未受診者に対する受診勧奨、請求書や健診結果の取りまとめをサポート

**人間ドック・健診の
24時間WEB予約サービス**

EPARK
人間ドック

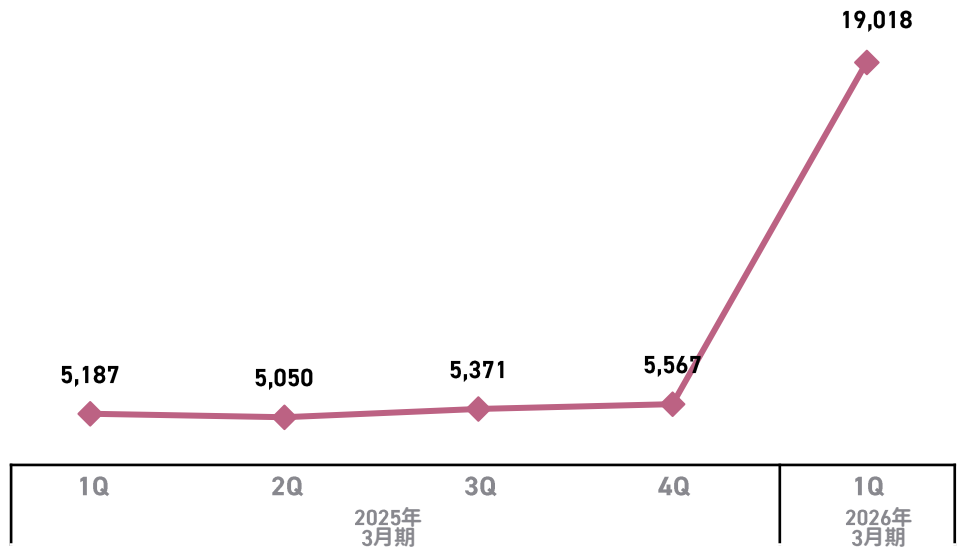
特定保健指導

対象者に対して、弊社加盟薬局の検索や対面、電話、メールなどの面談方法を選択できるWEB環境を提供。さらに対象者の抽出から未受診者への受診勧奨、特定保健指導完了までをサポート。



KPI：基幹システム事業

◆ 予約数(くすりの窓口健診サポートの予約数+EPARK人間ドックの予約数) ※
※売上は、ご予約頂いたユーザーが健康診断または人間ドックを実際に受診した月に計上されます。通常、予約から売上計上までは2〜3ヵ月掛かります。



ストック売上：月額利用料などの契約に基づいて一定程度継続的に得られることを見込んでいる売上と定義。
ショット売上：初期導入費用など一時的に得られる売上と定義。

2026年3月期 業績見通し

4. 2026年3月期 業績見通し

2026年3月期 業績見通し

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期比
単位：百万円						
売上高	6,489	7,420	8,721	11,199	12,300	+10%
売上原価	3,117	3,346	3,788	4,724	-	-
売上総利益	3,372	4,074	4,932	6,475	-	-
販売管理費	2,657	3,024	3,562	4,521	-	-
営業利益	715	1,050	1,370	1,953	2,200	+12%
経常利益	815	938	1,325	1,940	2,135	+10%
親会社株主に帰属する当期純利益	515	391	870	2,034	2,240	+10%

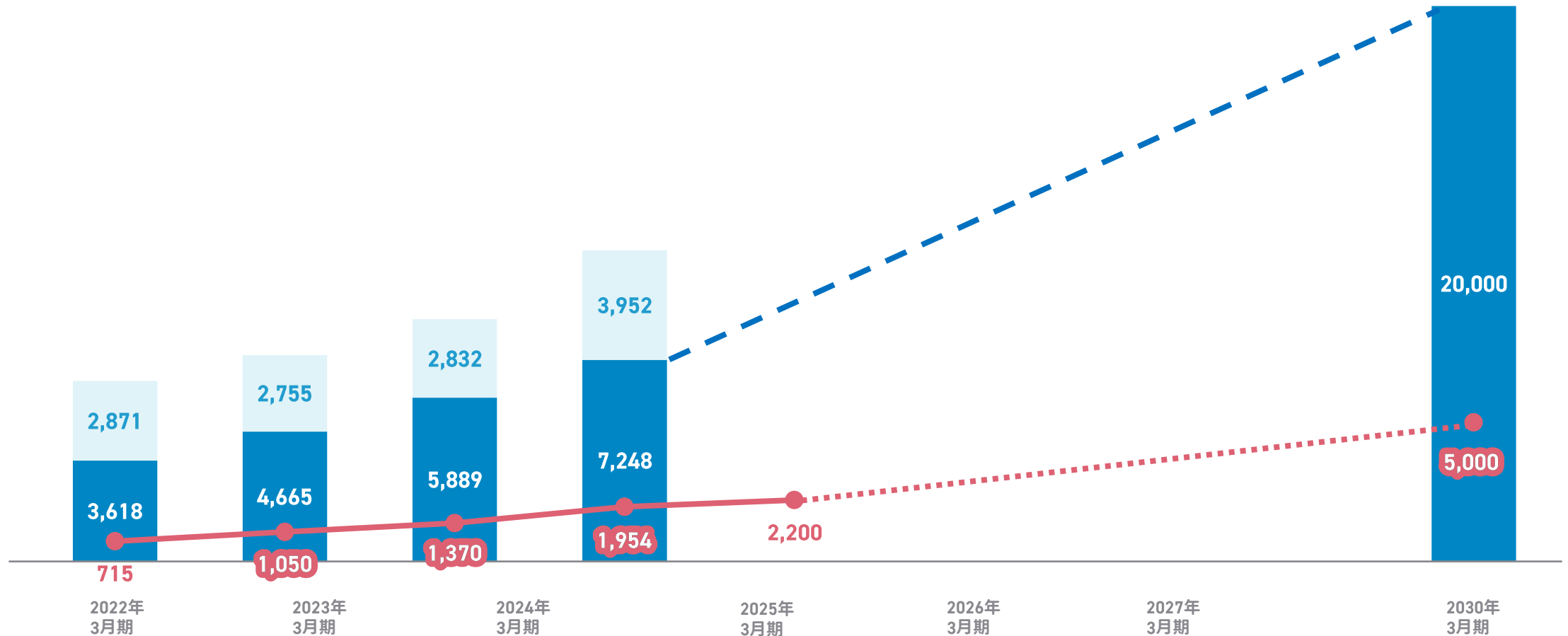
中期経営計画

5. 中期経営計画

中期経営計画

ストック売上を積み上げながら安定的な利益を確保し、**ストック売上200億円、営業利益50億円以上を目指します。**

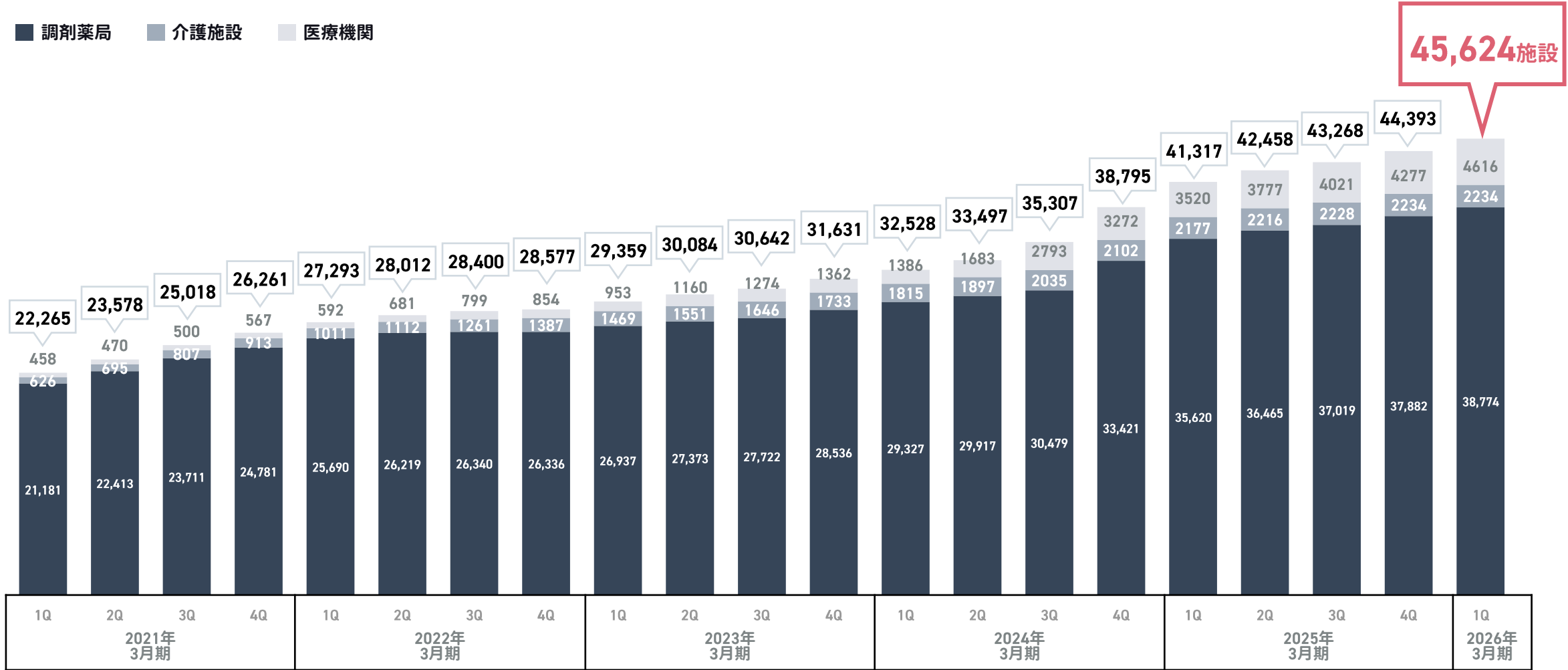
■ ストック売上高 ■ ショット売上高 ● 連結営業利益 単位：百万円



5. 中期経営計画

顧客基盤の拡大

2030年3月期末までに10万施設を目指します。





ヘルスケア領域に新しい価値を提供し、
事業を通じて「社会課題の解決」に貢献する

くすりの窓口グループをご支援賜りますようお願い申し上げます

注意事項

当社の連結決算は日本会計基準を採用しています。

業績予想などを含む本資料は、当社が現時点で入手可能な情報の正確性と、合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は、経済状況の変化や顧客ニーズの変化、または法規制等の変更等、さまざまなリスクや不確定な要因により異なる可能性があります、その達成を約束するものではありません。

IRに関するお問い合わせ

株式会社くすりの窓口 管理本部IR担当

E_mail

ir@kusurinomadoguchi.co.jp

IR サイト

<https://kusurinomadoguchi.co.jp/ir/>